

## 特集

# 市民の防災・減災意識の向上へ 防災士(菊川市)に聴きました

市民と議会をつなぐ特集ページです。  
今回は、知見・体験を活かし、市民の皆さんの災害に対する備えや意識が少しでも向上できればと、活動している防災士の皆さまに聴きました。

### 「あなたは、安心安全な場所に住んでいますか」「災害を自分事として捉えていますか」

#### 〈どのような経緯で防災士になりましたか?〉

- ・ 地域のために何か役立つことができないかと思い、防災・減災への遅れを感じ挑戦し、ふじのくに防災士・日本防災士を取得した。
- ・ 地区の防災組織強化のため取得した。伊東沖の海底火山噴火を体験したことも影響している。

- ・ 仕事で災害ボランティアネットワークに携わり、その中で紹介されたため取得した。
- ・ 水害の多い地区に住んでいるため、自治会・防災活動にかかわる中で地元の防災意識の希薄さを感じ、知人の薦めもあり取得した。
- ・ 連合自治会役員の時に防災連絡会を立ち上げた際、紹介され受験して取得した。昭和57年の台風被害を経験したため、防災に関心があった。
- ・ 地区の自主防災会会長となり、危機管理課から資格取得の紹介があり取得した。市の防災に関する出前講座も頻繁に受講し意識を高めている。

- ・ ふじのくに地震防災センターに恩師が勤めており、女性の防災士が少ないので受講しなにか誘われて取得した。取得することで防災意識が高まった。皆さんにも薦めたい。

#### 〈ふじのくに防災士の資格を取るために必要な日数、経費はどの程度ですか?〉

- ・ 1カ月の間に7日間25講座程度を、1講座60分から150分で受講する(Aコース)。静岡や浜松市内の大学で講義を受け、8割程度出席することでふじのくに防災士に認定される。
  - ・ ふじのくに防災士の受講料、講義会場への交通費については市から補助がある。
- ※主に土日開催する10日間のBコースもあり、昨年はオンライン(ZOOM)で実施された。

#### 〈市民対象の防災講演会や出前行政講座でどのようなことを実施しているのか?〉

- ・ 防災士会では危機管理課からの依頼で、出前行政講座の講師を行っている。避難所運営委員会や自主防災会の役員を中心に年10回程度行った。マイ・タイムライン(※1)や地図を使って危険箇所を見つけ対策を検討する訓練のDIG(※2)、避難所の運営対応をゲーム感覚で行うHUG(※3)などの講座がある。是非、活用してほしい。



防災教育の実施風景

※1「マイ・タイムライン」 台風や大雨の水害等、これから起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や環境に合わせて、あらかじめ作成する自分自身の避難行動計画

※2「DIG(ディグ)」 参加者が地図を使って防災対策を検討する訓練